

表1 参考：チェルノブイリ事故5-10年後の
ロシア、ウクライナ、ベラルーシ結果

チェルノブイリ原発事故5-10年後のセシウム137体内放射線量別被験者数						
	総数	線量(Bq/kg)別被検者数(%)				
		0-50	50-100	100-200	200-500	500-
全地域	119306	93727 (77.8)	15651 (13.0)	6852 (5.7)	2700 (2.2)	376 (0.3)
ベラルーシ						
ゴメリ	18883	14211 (75.2)	3136 (16.6)	1195 (6.4)	302 (1.6)	39 (0.2)
モギリョフ	23779	21441 (90.1)	1821 (7.7)	413 (1.7)	94 (0.4)	10 (0.1)
ウクライナ						
キエフ	27721	26283 (94.6)	1083 (4.0)	272 (1.0)	69 (0.3)	14 (0.1)
ジトミール	29079	21812 (74.9)	4625 (15.9)	1940 (6.7)	650 (2.3)	52 (0.2)
ロシア						
ブリヤンスク	19844	9980 (50.2)	4986 (25.1)	3032 (15.3)	1585 (8.1)	261 (1.3)

チェルノブイリでは多くの子供が継続的に高濃度のセシウムに暴露され続けていたことが問題であり、今後継続的な健康チェックとともに、食品、水のチェックが必須と思われます。

Hoshi らの報告 Health
Phys. 1994 Sep;67(3):272-5.
より